第23回新任薬剤師研修会に参加して

水戸医療センター　薬剤師　川又　康平

出身大学：日本大学（平成30年）
興味のある分野：がん領域

７月６日、東京医療センターで新任薬剤師研修会に参加させていただきました。今回の研修では、講義やグループ研修を通して医療安全について学びました。

講義では、医療安全の誕生と歴史そして現状からはじまり、安全な医療を提供するための様々な手段について教えて頂きました。特に興味深かったのは、過去の医療事故やその後の再発防止の紹介の中で投与する薬の単位誤認についてです。医師から看護師への指示伝達不足と看護師から医師への確認不足によるコミュニケーションの問題が原因でした。このようなコミュニケーションの問題は医師や看護師に限らず、薬剤師や他の医療従事者も例外ではなく、今後業務していくうえで意識していかなければいけない内容としてとても記憶に残っています。私もまだ一部ですが病棟業務を任されるようになり、先輩方や他の医療従事者との連携を密にとっていくために、コミュニケーションの大切さをより一層意識していくきっかけになりました。

グループ研修では、Team STEPPSについてグループに分かれて話し合ったり、課題に取り組みながら学びました。

話し合いの内容としては、患者さんの異変に気付いた看護師がほかのスタッフと情報共有するためにすべきことを、映像を見ながら話し合いました。きちんと伝えられなかった場合と情報がしっかり伝わった場合の２通りの結果を見ながら、「誰の事なのか」「どのような内容なのか」など相手に正確に情報を伝えるには必要だと思われる様々な事項をグループ内で意見を出しあいました。この話し合いを通じて、情報はただ伝えることが重要なのではなく、伝える内容によって相手の印象や重要度が変わってしまう怖さを知りました。現場でも、相手に分かりやすくより詳しい情報を伝えることを心がけて、たくさんの患者さんの命を救えるように頑張っていきたいと思います。

課題では、ハサミと糊を使って紙で鎖を作る作業を、片手しか使えなかったり会話を禁止されたりした条件を設けて取り組みました。この課題は、一つの目的を他の人達と協力しながら達成するために、連携を取っていく上で難しいことや必要なことを学びました。チームで動くには、リーダーシップをとって仲間に役割を割り振り作業をより効率よく回せるようにする人や、全体の状況を見て自分の立ち回りを変え滞っている作業を手伝える人などその場で応じて様々な役割を果たせる人が求められます。また、作業が終わった後どこが悪かったか、改善できることはないかを話し合い、次に生かすことも必要になってきます。私たちの班では役割分担は上手くできていましたが、全体の状況を見て柔軟に対処できる人はいませんでした。班であがった改善点としては、時間を意識してある程度の時間で一旦周りを確認することを心がけるようにするという意見が出ました。私は、簡単な工作の作業でも全体を見ることが中々できないので、実際の仕事の現場でも、全

体の業務の進行を把握することができていません。今後時間に区切りをつけ、常に周りを意識して業務に励みたいと思いました。

最後にこの研修を通して、情報の伝達の大切さと難しさ、業務に取り掛かるときに求められる立ち回りを学ぶことが出来ました。この経験を生かして、現場で他の医療従事者から頼りにされ臨機応変に立ち回れる薬剤師を目指していきたいと思います。